

平成 27 年(2015 年)5 月 29 日
 環境部 資源循環推進課 資源化推進係
 (課長) 宮村 泰之 (係長) 荒井 孝
 (担当) 増尾 久美
 電 話 : 026-235-7181 (直通)
 026-232-0111 (代表) 内線 2794
 F A X : 026-235-7259
 E-mail : junkan@pref.nagano.lg.jp

“チャレンジ 800” ごみ減量の推進について ～一緒に「ごみ減量日本一」を目指しましょう！～

1 趣 旨

ごみ減量に県職員自らが取り組むとともに、市町村等と連携し、「ごみ減量日本一」の長野県、そして、しあわせ信州創造プランに掲げる目標達成を目指します。

しあわせ信州創造プラン目標 県民 1 人 1 日当たり一般廃棄物排出量 800 g 以下(平成 29 年度)

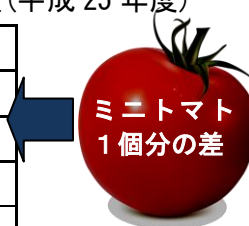
2 現 状

長野県の 1 人 1 日当たりの一般廃棄物排出量は、全国で少ない方から第 2 位。

1 位の沖縄県との差は、わずか 18 g と「ごみ減量日本一」を目指すことができる位置にあります。


1 人 1 日当たり一般廃棄物排出量(平成 25 年度)

順位	県 名	重 量
1 位	沖 縄 県	8 2 9 g
2 位	長 野 県	8 4 7 g
3 位	熊 本 県	8 4 8 g
参考	全国平均	9 5 8 g



(出典：環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」(平成 25 年度))

3 主な取組

県職員自らの取組 ・政策研究グループ ・環境部	■職員一人ひとりの取組促進 ・「わたしのチャレンジ 800」による職場・家庭での目標設定 ・ダンボールコンポスト研修会の実施 ■職場全体での取組促進 ・部内へのダンボールコンポスト設置 ・「エコマネジメント長野環境部環境方針」による日常業務活動でのごみ減量の実践徹底	
市町村と連携した取組	■市町村と地域の実情に応じた取組を協議 ・「チャレンジ 800 実行チーム(リーダー：地方事務所長)」を地方事務所毎に設置	
各機関と連携した取組	■学校における環境教育の一層の推進 ・小中学校校長会を通じ、給食の食べ残し削減や食べ残しの堆肥化等の取り組みを紹介 ■「食べ残しを減らそう県民運動」の一層の推進 ・長野県商工会議所連合会・長野県商工会連合会と連携し、運動の P R と「食べ残しを減らそう協力店」の登録を推進	

一緒に「ごみ減量」に取り組みましょう

- ✔ 「ごみ減量」は、「できること、簡単なこと」から始め、「長く続けられる習慣」に。
- ✔ 「ごみ減量」のアイデアは様々ありますが、環境部職員も「できること、簡単なこと」から「ごみ減量」を始めました。

職場での取組 (例)	家庭での取組 (例)
マイボトル持参、マイカップ・マイ箸利用	生ごみは水切りをして捨てる
両面印刷徹底、2in1 機能利用、付せん再利用	詰め替え・リターナブル瓶の商品を購入
宴会時、食べ残し・飲み残しはしない	食材は食べ切れる分だけ購入